

## 令和3年第1回島田市教育委員会定例会会議録

日 時	令和3年1月29日(金)午後2時30分～午後3時53分
会 場	番生寺会館
出席者	濱田和彦教育長、磯貝隆啓委員、柳川真佐明委員、高杉陽子委員
欠席者	
傍聴人	0人
説明のための出席者	中野教育部長、鈴木教育総務課長、神谷主席指導主事、高橋学校給食課長、小林社会教育課長、又平博物館課長、加藤スポーツ振興課長、岩本図書館課長、
会期及び会議時間	令和3年1月29日(金)午後2時30分～午後3時53分
会議録署名人	柳川委員、高杉委員
教育部長報告	
事務事業報告	教育総務課長、主席指導主事、学校給食課長、社会教育課長、博物館課長、スポーツ振興課長、図書館課長
付議事項	(1)教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について (2)令和3年度学校教育課の方針・施策について
協議事項	
協議事項の集約	(1)事務局から提案するもの (2)各委員が提案するもの
報告事項	(1)令和2年12月分の寄附受納について (2)令和2年12月分の生徒指導について (3)令和3年島田市成人記念事業について
会議日程について	・次回 島田市教育委員会定例会 令和3年2月25日(木)午後2:00～ 伊太なごみの里 ・次々回 島田市教育委員会定例会 令和3年3月25日(木)午後2:00～ プラザおおるり 第3多目的室  開 会 午後2時30分

教育長

時間が来たようですから、会議を始めたいと思います。

最初に、会議進行上のお願いをいたします。発言は全員着席のままお願いします。発言する場合がございますが、指名された方以外は、委員名、職名を告げてから、お願いをしたいと思います。

なお、付議事項については、1件ごと採決したいと思います。

それでは、ただいまから、令和3年第1回教育委員会定例会を開催いたします。

会期の決定ですが、会期は本日令和3年1月29日、1日とします。

続いて、会議録署名人の指名ですが、本日の会議録署名人は、C委員とA委員をお願いをいたします。

## 議 事 部長報告

教育長

それでは、教育部長報告に移りますが、部長報告は特にないようですから、次に進みます。

## 事務事業報告

教育長

続いて事務事業報告は、補足のある課からお願いをしたいと思います。

教育総務課長

それでは、1ページを御覧ください。

まず、実施について補足説明をさせていただきます。

1月8日に、島田第一中学校において、島田第一小学校建設計画説明会を実施しました。

これにつきましては、第一小学校周辺にお住まいの皆様を対象としたもので、自治会を通じて広報を依頼しまして、当日は6人の方に参加をしていただきました。説明会では建物の配置計画等の説明を行っております。出席者からは、排水計画や通学路、防犯灯などについての御意見をいただきましたので、実施計画への参考としていきたいと考えております。

続きまして、1月22日にプラザおおるりで、第2回総合教育会議を開催しております。

教育委員の皆様方には、大変お忙しい中御出席をいただきましてありがとうございました。

会議では、学校施設、跡地利活用についての状況を説明させていただき、御意見を頂戴いたしております。

また、コロナ禍における小中学校のエアコン使用について、御協議をいただき、子供たちの体調管理を第一に考え、適切な基準を定めることで、冬場についてもエアコンの使用を認めることとしていただいております。現在、使用基準を策定しているところでございます。ただし、季節柄寒さの厳しい日がいつ訪れるか分かりません。たまたま今日も、大変寒い日になっておるところでございますが、このことから、暫定基

主席指導主事

準を設けて、昨日からエアコンの運用を許可していることについて御報告を申し上げます。

次に、予定に移ります。

第2回初倉地区小中学校再編方針検討委員会につきまして、2月18日に初倉公民館で実施をする予定でございます。

この会議につきましては、令和3年度についても、継続して実施をする計画をしております。

2ページを御覧ください。

令和3年度になって、新しい年の教育活動がスタートしました。各校順調なスタートが切れたと聞いております。

1月20日には、初倉小、湯日小で交流活動を行いました。1月22日には、第三小学校が自然教室、朝霧に出かけております。

3ページを御覧ください。予定に移ります。

各小中学校で、修学旅行が幾つか計画されております。

1点訂正をお願いしたいと思います。2月4日、5日のところで、初倉小学校が、1泊2日の修学旅行を予定しておりましたが、コロナの関係があり、2月19日と2月22日の2日間日帰りを行うということに変更しました。行き先は三重県と静岡市内となっております。

また、2月15日には、先ほどと同じですが、湯日小学校、初倉小学校の交流活動を計画しております。

学校給食課長

4ページを御覧ください。

まず、実施ですが、3つ目の12月28日、南部学校給食センター設備納品検査、これにつきましては、グランドケトル、ガス回転釜、真空冷却機、総額で3,124万円となりますが、市の契約検査課による検査を行いまして、問題なく終了いたしました。

1月12日、静岡県学校給食共同調理場運営協議会中西支部栄養教諭・学校栄養職員研修会です。

今年度は、島田市が会長市ということでありまして、プラザおおるりで講演会を開催いたしました。対象は県内中西地区の東西では、掛川市から焼津市、南北では御前崎市から川根本町までの範囲となり、この管内の19の給食センターと3つの特別支援学校の栄養教諭等、総勢約50人が対象となります。

講師は福岡県在住ということで、島田市へお越しいただくかどうか、また、開催自体をどうするか、直前まで大変迷ったところでしたが、最終的に講師は福岡の自宅からz o o mで、プロジェクタで上演し、おおるりの会場の様子もz o o mで撮影し、全体をユーチューブ上で公開いたしまして、おおるり会場で視聴いただく方と、各市町のそれぞれの事務所で、ユーチューブで視聴する方と分かれ、実施をいたしました。市のデジタルトランスフォーメーション推進課の協力を得て、実施を

いたしましたが、カメラ撮影の生配信の経験はあるものの、福岡市からのzoom生動画と、おおりり会場のzoom画像等を、ユーチューブ上でミックスして配信することは、初めてのケースだったとのことでしたが、何とか無事に終了できました。

コロナ禍にあつての新たな講演会の実施方法が確認できました。参加者はおおりり会場には26人、各給食センターでは27人のオンライン視聴がありました。栄養教諭以外には、社会教育課、子育て応援課、また都市政策課の参加もありました。

講師は夫が産婦人科開業医であり、講師本人は助産師を40年、また、思春期保健相談士を務めている経験から、自身の生涯のテーマを食育としており、当日は「いのちをいただいて、つなぐこと」、生きることは食べることをテーマに、講演をいただきました。

講演の内容は、10代前半で妊娠してしまう女子と面談する中で、共通して見えてきたことは、家庭内で会話のない食事、コンビニで買って来た弁当を皿に移さずそのまま出す。話を聞いてもらえる相手がいない、そんな共通点があったとのことでした。

こうしたことから、食育にテーマを当て取り組んでいらっしゃるといふことです。

親が子供に食べさせることができない、そうして育てられた子供たちは、親になったときに同じように食べさせることができない。そういう面では、子供たちへの食育の推進が大事と訴えられておりました。また、この講師自身の活動として、2001年から弁当の日に取り組んでおり、全国で2,000校が取り組んでいるとのことでした。子供自らが、弁当を作ることで、給食の残食がなくなる、残せなくなるということが印象的に思いました。

1月18日から29日にかけては、全国学校給食週間として、生産者の学校訪問が、各小中学校で行われますが、新型コロナウイルスの関係で、ほとんどの学校では、生産者の訪問を取りやめている状況にあります。

まず人数の追記をお願いします。7ページを御覧ください。

上から3つ目、1月22日の六合市民学級の健康教室ですが、受講者29人です。その下のゆったり座談会が、参加者1人です。その下の1月24日金谷公民館新春イベントは、参加者が150人です。その下の1月26日六合市民学級のみそ作りが24人です。その下のフレンズクラブが17人です。その下の1月28日のグー・チョコキ・パーが19組38人です。その下の中央高齢者学級が受講者19人です。その下の金谷公民館の職人さんの和菓子が、6人です。

では、実施事業の報告をいたします。6ページを御覧ください。

上から2番目の、1月10日の令和3年島田市成人式ですが、後ほど報

社会教育課長

告事項で、詳細を報告いたします。

次に予定事業の補足ですけれども、8ページを御覧ください。

中ほどの2月3日の親学講座ですが、これは小学校入学前の新1年生の保護者を、対象として入学説明会や就学時健診を利用して、実施している事業となります。

市で作成した、親学ノートを活用してペアレントサポーターから保護者に対し、入学前に身に付けたい生活習慣など、入学前の家庭教育についての講座を行っている事業となります。

例年ですと、全小学校で実施していただいているものですが、今年度はコロナの感染拡大状況を勘案して、6つの学校では実施を見送ることとしております。それらの学校にも親学ノートについては配布しまして、保護者の方に入学前に、御覧をいただくようにする予定でございます。それから、同じページの下から2番目、2月7日日曜日の社会教育講座、「“ささま”とゆる〜くつながろう」ですが、皆様のお手元にチラシを配布させていただきました。

これは、山村都市交流センターささまの元館長の北島亨さんや、武井敦史さんなどをお招きして、ささまを中心とした、地域づくりの実践例とか、関係人口の創出などについての講演会や、パネルディスカッションを行います。

会場に来ていただいて直接御参加いただく方と、zoomを用いてオンラインでの参加も可能な形で実施をいたします。zoom回線につきましても、まだ募集中でありますので、よろしければ御参加いただければと思います。

続きまして、9ページ中ほどですが、2月11日から2月14日、22回の夢づくり展を開催いたします。

こちらについては、コロナ対策のため、例年実施しているプラモデルや陶芸を体験するワークショップなどは、取りやめをさせていただきます。例年よりも実施内容を縮小して、感染対策をとった上で、基本的には展示のみで、開催する予定となっております。

11ページを御覧ください。

まず、人数の追記をお願いします。

1月23日奈木和彦展関連イベントについては、参加者が33人。1月24日おもちゃ病院しまだが、参加者24組でございます。

まず、実施についての補足説明をいたします。

1月23日土曜日の奈木和彦展イベントのトークセッションでございますが、これは奈木和彦氏と島田市博物館協議会委員でもあります、平野雅彦氏によるトークセッションを行いました。

定員は先着12名としましたが、定員を上回る参加希望者が予測されたため、あくまでも博物館、海野光弘記念館には12名を入れまして、入

博物館課長

場できなかつた方のために、旧桜井家住宅のお庭を使って、ライブ配信を行いました。その結果33人の方に、来ていただいたということでございます。

実施事業の内容には記載されておりませんが、1月10日日曜日、新成人を祝うために新成人を対象に博物館本館、分館の入館を無料とさせていただきます。

本館では、そのブースを設置し、分館では旧桜井家住宅などで写真を撮ってもらうなどをしていただきました。本館13人、分館10人、合わせて23人の新成人の方が来館されました。

続いて、12ページを御覧ください。予定でございます。

申し訳ございません、2月13日土曜日の海野光弘展関連イベントの参加予定人数が漏れておりました、参加予定は10人でございます、追記をお願いいたします。

では、補足説明をいたします。

1月31日、諏訪原城講演会ですが、諏訪原城跡整備委員であります、前田利久先生を講師に迎え、古文書から見る諏訪原城の姿というテーマで、戦いの城であった諏訪原城の日常生活について話をさせていただきます。収容人数300人のところを、参加者60人するなど、新型コロナウイルス感染防止対策を講じて実施したいと思っております。

次にその下の2月6日から3月28日に開催される「歴史イラストレーター永井秀樹～戦国武将と剣豪を描く」でございますが、永井氏は御前崎市出身で、島田学園、現島田樟誠高校を卒業しております。

この企画展では、静岡新聞の連載小説家康の挿絵を始め、ふだん見ることのできない原画などを、多数展示いたします。

委員の皆様のお手元に案内と招待券を配付いたしましたので、またこぞってぜひ御覧いただきたいと思っております。

これも記載されておりませんが、施設の整備について報告させていただきます。博物館本館の来客用エレベーターの工事が完了いたしました。昨日、完成検査を行いまして合格しましたので、今稼働できる状態になっております。

現在2階特別展示室は、展示替え中ですので、2月6日の永井秀樹展から稼働することにしております。

スポーツ振興課長

それでは、13ページを御覧ください。

最初に、人数の追記をお願いします。1月22日、スポーツ推進委員定例会ですが、27人になります。

それでは、補足ですけれども、初めに実施ですが、1月17日の第70回島田・中日駅伝競走大会につきましては、コロナウイルスの関係で中止としております。

そのほか、記載がしてありませんけれども、例年実施をしております

元日マラソンについても、中止としております。

続きまして予定でございますが、一番上の1月29日、本日の午前中になりますけれども、株式会社アールビーズとのスポーツ振興に関する包括連携協定をリモートにて、本日締結をいたしました。

株式会社アールビーズにつきましては、ランニングを中心にスポーツのすばらしさを世に広めるために、社会貢献をすることを活動理念として、さまざまな事業を展開している会社でございます。

主な事業としては、ランニング専門誌月刊ランナーズの発行や全国各地のマラソン大会の運営サポートなどを行っている事業者でございます。

連携の事項でございますけれども、1つ目としては、スポーツをする子供の増加と体力の向上に関する事。

2つ目として、成人のスポーツ実施者の増加と、高齢者の健康増進に関する事。

3つ目として、障害がある人のスポーツ参加者の増加に関する事。

4つ目として、手軽に参加できるスポーツ環境の整備に関する事。

5つ目として、さまざまな運動に関するイベント等を通じた地域活性化に関する事。

6つ目としては、その他目的を達成するために必要な事業に関する事ということで、6つの連携事項を設けまして、連携協定の締結をいたしました。

次に、2月19、20日の予定でございますけれども、島田市出身の車椅子バスケの選手であります藤本怜央選手ですけれども、神座小学校とローズアリーナで、講演会を予定しておりましたけれども、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、やむを得ず中止としております。

それでは、別添の差し替えをお願いいたします。

ページ数をふってございまして、16ページを御覧ください。

まず、人数の追記をお願いいたします。

15ページ、下から3番目、1月23日、楽しい理科教室、参加者14人をお願いいたします。

また、追記をお願いいたします。

15ページの一番下に、1月28日木曜日から2月28日日曜日まで展示コーナーの設置、科学道100冊2020、科学道のどうは、「道」となります。こちらは、島田図書館で開催になります。

続きまして、16ページの真ん中ほどに、今説明しましたものも予定で入れていただきたいと思います。1月28日から2月28日、展示コーナー設置、科学道100冊2020、島田図書館でございます。

続きまして、事務事業概要の補足説明をさせていただきます。14ページをお願いいたします。

図書館課長

一番上の11月26日から1月17日まで、ひみつカードの配布ということで、これは以前説明をさせていただいたと思うのですが、1回本を借りていただくと、用紙のところに1枚ずつ絵を貼ってですね、9枚で絵が完成するという、くじらの絵ですけどね。そういうものを開始、配布をいたしました。結果、この期間で181枚の配布をしております。前回もやっておるのですが、前回に比べて大分枚数が減っております。前は300枚程度だったのですが、やっぱりコロナ禍の影響がちょっと出ているということが思われます。

続きまして、14ページの一番下になります。1月5日に開催しました、図書館福袋でございます。こちらは58袋を出させていただきまして、島田図書館でやらせていただきました。いつもは午前中になくなってしまいますのですが、今年に限っては、午後までかかりまして、その日までは全て貸し出されたということになります。

また、市内図書館でやらせていただいております図書館おみくじ、こちらは15ページになりますけれど、1月5日、6日、2日間やらせていただきました。

島田図書館、金谷図書館、川根図書館、あと川根支所、チャイム21に置かせていただきまして、この2日間で1,111枚のおみくじが引かれております。たくさんの方に、今年は引かれたなと思っております。

続きまして、同じく15ページの下から3番目、1月23日楽しい理科教室でございます。こちらは、子供が14人参加していただきまして、川根小学校の多目的ホールを利用させていただきまして、ペットボトルに水を入れてですね、お弁当に付いてくるお魚のしょうゆ入れ、あれを浮かべまして、水圧によって上下するというようなことをやらせていただきました。

それともう一つは、ビニールひもを細かく切らせていただいて、上を結んでクラゲみたいになるのですが、それをビニールパイプで静電気を使って、棒を上げると、そのクラゲみたいなものが上に上がると、静電気力、プラス、プラスで反発力を生みながら、上がるということで、大変子供たちはにぎわって、楽しそうにやらせていただきました。

次に1月28日から、先ほど追記させていただきました科学道100冊、お手元にこちらの冊子がございます。それこそ、理化学研究所で協力していただいて、編集させていただいております。これは昨年も2019ということでやらせていただきまして、今年については、ちょうど開いていただくと、驚異の体ということで、コロナウイルスに関する本がたくさん掲載されております。本当にどうしてなのだろう、知りたいという気持ちを満足させてくれる作品が、たくさんございます。こちらは、100冊となっておりますけれども、島田図書館所蔵の60冊を掲載させてい



ただいております。

次に予定でございます。16ページを御覧ください。

下から4番目の2月7日日曜日です。こちらはボランティアステップアップ講座を開催させていただきます。講師に藤枝市在住の絵本作家、むらまつけーじさんを招いて行います。こちらは、島田では初めての講座となります。

この方は藤枝の民話とか伝説を、絵本に起こして書いている方で、島田、金谷、川根図書館の3館で各4冊所蔵しております。

教育長

ありがとうございました。

説明は終わりました。委員の皆様から、質問、御意見がありましたら、お願いしたいと思っておりますけれど、いかがでしょうか。

B委員

図書館課に、これは感想なのですけれども。

おみくじありがとうございました。私も大吉ですね、金谷図書館で引いたのですけれども。大、中、小いろいろあると思うのですけれども、またどういう配分になっているのか、ちょっと教えていただければと思います。

それと、僕は金谷図書館によく行くことがあるのですが、よく小説家がお亡くなりになると、その特集をしています。この間も半藤一利さん、それから画家の安野光雅さんかな、あったかなと思うのですけれども。島田図書館にも、どうやっているのかなと思って行ったらですね、やっぱり半藤一利さんのコーナーがありました。以前は、柳美里（ゆうみり）さんのコーナーもあって、アメリカで外国部門の賞を取りましたですね。そういうのもあって、各図書館がその時々話題にそえて、何かコーナーを作っているの、それはとってもいいなというふうに思います。

お伺いしたいのは、ああいうアイデアというのは、それぞれの図書館に任せているのでしょうか。私は川根図書館には行ったことがないものですからね。ちょっとそこら辺も教えてください。

教育長

よろしいですか。

図書館課長

おみくじの大、中、小の割合は多分、館によって、ちょっと違っています。

B委員

なるほど。

図書館課長

大大吉というものがございまして。

B委員

ああ、そうですか。

図書館課長

そちらは、10本ほどあるのですけれどね。本当に当たった方には、粗品というか、ボールペンとか、そういうものを差し上げております。

それと亡くなった方とか、そういうのは新聞記事に載るので、一応各館で対応をしております。ほとんど、一般書の担当の方がそれを見て、直ぐに反応してやっていただいているということで、本当に私たちよ

りも早く、会計年度任用職員の方が主になるのですけれど、その方たちが新聞を見て、亡くなった方の著書を全て直ぐに集めて、やっていただいているので大変ありがたいと思っています。ですので、館によって、多少は違いがあるかもしれません。

B委員

はい。

図書館課長

それこそ、作曲家の方でこの間亡くなった方のものは、島田図書館ではやっていますけれど、金谷、川根ですとCDがないとか。

B委員

ああ、なるほど。

図書館課長

そういう所蔵本によって、それをやるかどうかというのも、その館に委ねさせていただいております。

教育長

ありがとうございました。

ほかに、どうでしょうか。

A委員

学校教育課をお願いします。

2月4日に、幼稚園・保育園・こども園・小学校合同研修会が、開催予定ですが。どのような内容の研修をするのかだとか、参加者の方はどんな役職の方が来るのか、分かれば教えてください。

それから、2つ目が学校給食課。

毎月1回、具だくさんの島田汁などを使った、おしまちゃんランチをやっている。これは学校でも、給食委員会が放送して、今日はこんなのをやっていますよというのをやっているのがすごくいいと思います。

この前、県の教育委員会新聞で、ふじっぴー給食をやるということで書いてありました。きのう、ホームページに更新されたところには、ふじっぴー給食を今年度はやるということで、サバの竜田揚げが書いてあったので、よかったなと思ったのですけれども。献立表には、ふじっぴー給食という字だけは書いてあるけれども、おしまちゃんランチのように、ちょっと説明があると、もっとよかったなと思いました。

最後にもう一つ、スポーツ振興課の1月29日の株式会社アールビーズとの包括連携協定締結式が行われたということで。アールビーズのホームページを見たところ、近隣の市、掛川市だとか、牧之原市だとか、本当に最近たくさん市の、協定締結式を行っているというニュースを見たのですが、島田市もここに入ったという経緯などがあれば教えてください。

教育長

いいですか、それでは、最初に学教からお願いします。

主席指導主事

2月4日の幼稚園・保育園・こども園・小学校合同研修会ですけれども、参加者としては、幼稚園・保育園・こども園の職員の方数名ずつ、それから小学校においては、主に低学年を担当している教員が参加しています。

今年度の具体的な内容については、まだ私は把握できておりませんが、園と小学校との円滑な連携を目指して、そのようなことについて研

教育長

高橋学校給食  
課長

A委員

スポーツ振興課長

教育長

A委員

教育長

B委員

修をしております。

いいですか。

ふじっぴーは、要望なものですから、何か答えることはありますか。

全国学校給食週間の話が少しありましたが、これにつきましては12月24日が、山形県の鶴岡町で給食が始まったということで、これにちなんで、その日が休みになってしまうものですから、1月24日を中心とした週を全国学校給食週間としております。

また、お話がありました、おしまちゃんランチについては、島田のコマツナとかミニトマト、島田のものを使った日には、そうしたおしまちゃんをマークにするしまして、月1回ですけれども、表示をしています。また、ふじっぴー給食については、また県のほうに何かマーク的なものがあるか確認しながら、なければまた何かしらちょっと考えていきたいなと思います。

ありがとうございます。

株式会社アールビーズとの経緯等々でございますけれども、今回協定を結んでおります。

県内では、藤枝、牧之原、裾野、小山、湖西、掛川等が、もう既に協定を締結されております。この仲間に入ったということでございます。そういったことによって、自治体間同士の情報交換など共有することができると、全国ではやっぱり50ちょっとが協定を締結しているというところがございます。その仲間に島田市も加わったと。

経緯でございますけれども、もともとこのアールビーズについては、島田の大井川マラソンの運営を、サポートしていただいた事業者です。そうした関係から、島田市とのつながりができたということです。

今年はマラソン大会がなかったわけなのですが、アールビーズ主催のハーフマラソンですとか、フルマラソン等々ですね、大井川の河川敷のマラソンコースリバティで、今実施をさせていただいております。最初はマラソン大会の関連から、島田市にこういうような投げかけが来たということで、島田市としても得になるとあれですけれども、非常にメリットがあるということで、今回締結をさせていただいたということでございます。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

ほかに、何かありましたら。

スポーツ振興課にお願いします。

A委員の質問とちょっと関連するのですが、アールビーズとは、取りあえずランニングで全国展開をしているようなことを伺いましたけれども、マラソン関係とかで、具体的に何か進んでいるものがあるのでしょうか。

スポーツ振興課長

今日、締結したばかりなものですから。もともとアールビーズは、ランニング専門誌と先ほどお話ししましたけれども、ランナーズという雑誌を出しております。

そういったことから、全国各地のマラソン大会の募集を、そこで受けるということをやっている事業者です。

今現在、進行形ではないのですけれども、昨年10月、11月、12月と3回ほどマラソン大会を、リバティーで開催をさせていただいております。この3月にも、フルマラソンをするということで、計画をさせていただいているところです。

そういった形で、島田市でそういったマラソン大会、今年は特にマラソン大会自体が、全国でなくなっているものですから、そういったこともあって、頻繁にやっていたらいいのかなというところもあるのですけれども、そういった形のものを頻繁にこれからやっていただけるのではないかなと思っています。

あと、有名選手を招いた講演会ですとか、そういったものの紹介をしていただけたらいいですとか。あと、マラソンのゼッケンですね、例えば元日マラソン、数量に限りはあるのですけれども、マラソンのゼッケンを提供していただけたらいいというようなことも、今後進んでくるような段取りになっております。

B委員  
教育長

ありがとうございました。

よろしいですか。

ほかは、どうでしょうか。

B委員

もう1点いいですか。

学校教育課にお尋ねします。

1月18日、北中と一中の生徒の交流会。それと20日に初倉、湯日の小学校の交流会がありました。情報が入っていましたら、教えてほしいのですけれども。

教育長

じゃあ、学校教育課、何か分かっていることがあったら教えてください。

主席指導主事

北中、一中については、直ぐにお答えすることができません、すいません。初倉小、湯日小については、学校に子供たちが行って、実際に一緒に授業を受けたりですとか、給食を食べたりという活動を一緒に行っております。

教育長  
B委員  
教育長

また、次回に少し情報を集めてもらってということにしましょうか。

はい。

その程度でよろしいでしょうか。

では、以上をもって、事務事業報告は終了したいと思います。

#### 付議事項

教育長

続いて、付議事項に移りたいと思います。

教育総務課長

付議事項については、1件ずつ審査しますから、よろしくお願ひします。

議案第1号、教育委員会に関する事務の点検・評価報告書についての説明を、教育総務課長お願ひします。

それでは、17ページを御覧願ひします。

議案第1号、教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に規定する報告書を、別冊のとおり定めることについてお諮りをいたします。お配りしてあります、別冊の報告書、こちらですが御覧ください。

この点検・評価につきましては、昨年11月第10回定例会で、第一次評価として、各課の事業と自己評価について、御協議をいただいております。それ以降となりますが、12月に第4回、第5回外部評価委員会を行いまして、外部評価委員から評価と御意見を頂戴しております。今回は、それをまとめましたので、御報告をさせていただきます。

外部評価委員とのヒアリングにつきましては、各課の係長以上の職員が出席して、委員に対して説明を行い、質問や御意見を頂戴しております。

それでは、概要のみになりますが、説明をさせていただきます。別冊の8ページ、9ページを御覧ください。

この教育委員活動の事務事業シートにより、全体のことについて説明をさせていただきます。

9ページの一番上にあります、有効性という欄、こちらを御覧ください。

ここでは、自己評価の右側に外部評価ということで、外部評価委員による評価が記載をされております。

また、下から2つ目の欄、総合評価につきましても、自己評価の右に、外部評価委員による評価が記載されております。

なお、今回の外部評価委員の総合評価につきましては、21事業のうち11事業が教育委員会の自己評価と同様の評価で、10事業につきましては、教育委員会の自己評価を上回る評価をいただいております。

次に、9ページの一番下の欄には、外部評価委員の意見として、事業に対するそれぞれの御意見を頂戴してございます。

各課の事業につきましても、10ページ以降にそれぞれ記載されていますが、今説明をしました外部評価委員の意見欄について御確認をしていただければと思います。

最後になりましたが、50ページを御覧願ひします。ここに教育委員会に関する事務全般に対する総評という形で、御意見を頂戴してございます。

まず、中村委員からは、評価の表記を分かりやすく変更したことを評

価していただきました。

内容については、掲載事業の積極的な箇所等の見直しを意識することや、自己に責任がなくどうしようもないことが原因で事業を進められない場合、柔軟に対応できるようなシステム、そういったことを望みますという御意見を頂戴しております。

小澤委員からは、教育委員会として事業をさらにいろいろな角度から検証することに努め、そこから生まれる気づきを検討していくといった工夫と努力が大切であること。また、市民が安心して学べる環境づくりや最大の目標である、子供たちの豊かな心を育む、これに向かっての取組に期待する旨の御意見をいただきました。詳細につきましては、お手元の資料に詳しく記載をしてありますので、御確認をいただきたいと思います。

教育長

教育総務課長から、点検・評価のことについての概要について説明がありました。

委員の皆様から、御質問等がありましたらお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

A委員

A委員、何かありますか。

教育長

特にありません。

教育総務課長

この件については、協議をしてきたものですから。

教育長

そうです。

大きな問題はないと思うのですが、もし何かありましたらお願いします。

B委員

新型コロナの影響で大分、自己評価もそうなのですが外部評価も低い値になっているところが幾つかあります。

これは感想なのですが、特に社会教育課なんかは、ちょっと結構つらい立場になっているのではないかなと思って心配しているのですけれども。

これも、コロナウイルスが好転していけば、自然に解決するものかなと思ってはいます。

ただ、そうはいつでも、今の状況をそのまま見過ごすわけにはいかないので、やっぱり改善すべきところはしていただきたいなという事は、これを見ながら思いました。

教育長

私から、いいですか。

確かに、人を集める事業というのは苦労したと思うのですよね。その最たるものが社会教育課、またはスポーツ振興課だったのではないかなということを思います。でも、一方で、成人式のように新たな取組も、可能性として見出すことができたのではないかなと思います。ですから、そういう財産を生かしながら、来年度やっていけばコロナ禍でも、できることはあるのではないかなということは思います。ぜひ、新しい

B委員  
教育長

ことに挑戦していくことが大事だと思いますから、よろしくお願いたいなと思います。

よろしいでしょうか。

はい。

それでは、御意見、質問がないようですから、採決に移ります。

議案第1号で提案された、教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について、御異議はございませんか。

各委員  
教育長

〔「異議なし」という者あり〕

異議なしと声が聞こえましたから、議案第1号につきましては、提案のとおり可決いたしました。

それでは、議案第2号、令和3年度学校教育課の方針・施策についての説明を、学校教育課お願いします。

主席指導主事

9ページを御覧ください。来年度の方針を受けまして、下線の部分を主に変更しております。

また、新型コロナに関連して、追加した部分もございます。主に昨年度からの変更点を説明させていただきます。

なお、実績の数値、目標の数値について入っていませんので、それ以外のところについて、また御意見をいただきたいと思います。

それでは、19ページの一番上の1番、重点施策というところ御覧ください。

こちらについては、内容は変わっておりませんが、文の組み立てを変えております。

下線部のある前の部分、「夢育・地育」の部分を前に出しております。この部分を核としてということで、大切にすることを表すために、文章の最初に書かせていただいております。

それでは、下に行きまして、(1)のイ、ボランティア活動や地域行事への参加の推進というところ です。

こちらについては、令和2年度は、人に役立った活動の体験記のことを書いておりましたが、ボランティアと地域行事の参加に変えております。地育ということで、大切にしていることであり、文科省でも大切にしていることでもあります。キャリア教育にもつなげたいという思いもあります。

ウの一番下の丸です。学校・関係機関・家庭を結んだ子供や保護者の支援を行う「スクールソーシャルワーカー」の配置と活用の推進というところ です。

ここは、今までなかった部分を加えております。島田市でスクールソーシャルワーカーが大変活躍をし、子供や保護者を支えているため、ここに書き加えております。

20ページを御覧ください。

カが一番下の丸です。貧困の連鎖を防止するための学習支援等における福祉課との連携という言葉を加えております。

新しくなる教育センターに福祉課が入ることもあり、ここにこの言葉を入れました。

その下のキの2つ目の丸。学校図書館支援員の配置及び研修会の実施というところです。

これまでは、配置促進としていましたが、現在2校に1人の配置が定着しておりまして、促進という面よりも職員の資質の向上に力を入れたいということから、このように変えました。

21ページの上に目標数値があります。

まだ、学校から数字が上がってきていないので入っておりませんが、上から2つ目のサタデーオープン・サマーオープンの実施回数ですが、右側の令和2年度の実績として13回を予定しております。また、来年度については、今年度コロナでできなかった部分を計画しておりますので、28回目標としております。

21ページの下の方です。

(2) のアの部分です。「夢育・地育推進委員会」が提案する単元全体を見通した「授業づくり」構想図の活用促進ということで、1時間だけではなく、単元という大きなまとまりを意識して、授業づくりをするよう提案していく予定であります。

また、9年間を見通し系統性を大切にしたい小中連携ということで、これまでは、小中連携による授業づくりとしておりましたが、より系統性を意識していきたいため、そのように変えております。

イの外国籍の部分については、これまで外国人という表記であったため、外国籍児童というふうに変えております。

22ページを御覧ください。

ウの上のほうです。医療的ケアを必要とする子供に対応した学校教育支援員(医療的ケア)ということで、今回の予算により新しく付けることができるため入れております。

その下の特別支援教育の理解や連携を深めるための特別支援教育指導員の配置については、これまでも配置しておりましたが、大切にしていることなので改めて示しております。

同じようにALTについても、研修の実施はこれまでも行っておりましたが、配置促進よりも資質向上に力を入れていくということで書かせていただいております。

オについては、新たにGIGAスクールについて書き加えております。

一番下の目標数値ですけれども、先ほどと同じようにまだ入っておりませんが、一番上の指導主事等の学校訪問回数については、令和2年



度の実績は25回の予定となっております。令和3年度の目標は35回としたいと、今のところ考えております。

23ページに移ります。

部活動指導員配置事業ということを書き加えました。今回、2人分の予算を付けていただきまして、部活動指導員を配置することができるため、そこに書き加えております。

その下の栄養教諭による食育指導を通して、食に関する理解や朝食摂取率の向上を図る部分については、これまでここに書かれておりませんでした。学校を訪問して子供たちの指導をしているため、ここに書き加えております。

24ページを御覧ください。

(4)のウについて、コロナウイルスへの対応を受けて加えております。特に2つ目の丸。新しい生活様式のこと。それから一番下の丸。人権教育について力を入れていきたいと考えております。

カのスクールバスの安全な運行については、北中・一中、湯日小・初倉小については、来年度から統合されますが、統合後のケアも必要と考えております。そのうちの一つとして、スクールバスの安全な運行をここに入れさせていただきました。

変更点については、以上になります。

教育長

数値目標が、まだ確定されていないということがありましたが、説明は終わりました。

委員の皆様方からの御意見、御質問があったらお願いします。

いかがでしょうか。

B委員

22ページのALTの配置の拡充ということで、10名ということが記載されております。

その下に、研修の実施ということも記載されているのですが、ALTの方の具体的な研修といえますか、人数的なもの、種類みたいなことをちょっと教えてください。

主席指導主事

人数については、変わりはないのですが。今年度同様、研修を進めています。学校教育課に中島先生という方に来ていただいているのですが、各校を回って、実際の授業を見て、そこでALTに指導をしております。また、ALTを集め、そこで授業づくりについての指導、研修を行っております。

B委員

もう一回いいですか。

教育長

はい、どうぞ。

B委員

ALTの方って、2種類いらっしゃるようなことを聞いたのですけれども。そこら辺についても教えてください。

教育長

ALTが4人で、JETが6人だと思います。その2種類あります。ALTのほうは、そういう専門の業者に委託しています。JETのほう

B委員  
教育長

は、文科省が紹介してくれたALTを雇用しているという、そのような2種類があります。

ありがとうございました。

よろしいですか。ほかに、もし何か御質問等がありましたら、お願いします。

C委員

どうですか、C委員ありますか。

19ページのボランティア活動や活用の部分。これは結局、評価表を見ますと、去年の人に役立った活動等をまとめる体験記というのを、こちらに変更するという。

主席指導主事

はい。

C委員

別に、体験記について、どのとは別ですよ。

主席指導主事

体験記については、今後、行くかどうかということについて考えていきたいと思っています。

C委員

それともう一つ。

そのボランティア活動や地域行事の下の、青少年赤十字(JRC)活動の位置付けというのが書いてあるのですけれども。知識がないので、ここの説明をしていただけませんか。

主席指導主事  
教育長

それでは、自信はないですが。

じゃあ、私から説明をします。

JRCの活動に協力している学校が、島田市はたくさんあります。一応、登録している学校は、小中25校、全部が加盟をしています。

福祉的な活動、ボランティア活動もその中でやっています。さまざまな活動をやっているのですけれど、例えば空き缶を集めたり、ペットボトルのふたを集めて、車椅子とかにという活動をいろんなところをやっているということなのですね。

赤十字、JRCの活動をすると、確か補助金が各学校に1万円ぐらい来ていたものですから、そういうようなお金を使いながら、それぞれの学校は取り組んでいます。

全校で取り組んでいるところ、それから中学校なんかでは委員会活動として取り組んでいるところ。取り組み方は各学校に任せられていますが、福祉的な活動、それから環境的な活動とか、そういうふうなことに取り組んでいるということがあると思います。

C委員

ありがとうございました。

教育長

ほかはどうでしょうか。

B委員

豊かな心の部分で、去年は劇団四季のこころの劇場がありました。これは、昨今こういう状況なので、劇団四季も今回は止めますということで、ホームページなんか書いてあります。

私は四季に問合せをしたら、今はネット配信なのか動画なのか、いろいろ考えているそうなのです。もし、そういうことが可能となった

教育長

らですね、ぜひ今年も、この学校教育の文面はこのままで結構ですので、ぜひともですね、劇団四季のこころの劇場は、やっていただければありがたいなというふうに、これは要望ですのでお願いいたします。

要望ですから聞いておいて、また各学校に投げかけをお願いしたいと思います。

ほかは、どうでしょうか。いいですか。

私から、一つ聞きたいことがあるのですが、この数字の確定はいつ頃になるのでしょうか。

主席指導主事

2月19日に各校から集まってくるので、次回の定例会のときには、お示しできるかと思います。

教育長

分かりました。

教育総務課長に聞きたいのですが、島田市の教育、要するに大要が決まるのは、3月の定例会ですか。

教育総務課長

3月の定例会です。

教育長

そうですね。

教育総務課長

はい。

教育長

じゃあ、また、この表の部分については、3月の定例会の付議事項として、大要の検討も入ってくると思うのですから、そこでもう一度確定はさせていきたいと思います。表以外のところについての採決を採りたいと思います。

ただいま、話題になっています、令和3年度学校教育課の方針・施策について、御異議ございませんか。

各委員

[「異議なし」という者あり]

教育長

異議がないようですから、議案第2号につきましては、原案のとおり可決しました。ありがとうございます。

### 協議事項

教育長

それでは、協議事項に移りたいと思いますが、予定された協議事項はありません。この際ですから、各課から提案するようなことがありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

委員から、何か協議したいことがありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

よろしいですか。それでは、以上にしたいと思います。

### 協議事項の集約

教育長

続いて、次回教育委員会における協議事項の集約を行いたいと思います。

まず、事務局から、提案することはあるでしょうか。

教育総務課長

特にございませぬ。

教育長

いいですか。

それでは、各委員の皆さん、来月の定例会で協議したいことがありま

各委員  
教育長

したら、お願いしたいと思いますがいかがですか。

特にない。

いいですか。特にないようですが、もしありましたら、いつでも結構ですから、教育総務課に申し出ていただきたいと思います。

### 報告事項

教育長

それでは、報告事項に移ります。

報告事項につきましては、全ての報告が終わってから、質問、意見を受け付けたいと思いますからよろしくお願いします。

教育総務課長

最初に、令和2年12月分の寄附受納について、教育総務課長お願いします。

それでは、26ページを御覧ください。

12月分の寄附受納についてでございます。五和小学校に対しまして、五和小学校のPTAから国語辞典35冊が寄贈されておりますので御報告申し上げます。

教育長

それでは、令和2年12月分の生徒指導について、学校教育課説明をお願いします。

主席指導主事

別紙でお渡ししております、生徒指導月例報告を御覧ください。

問題行動については、このように減少となっておりますが、まだそれほど減っているという状態ではありません。

今月については、オンラインゲームの中での課金、保護者のクレジットカードを使って繰り返すという事案も発生し、このようにインターネット等の使い方については、今後指導していく必要があるということを考えております。

2ページに書いてありますように、長期欠席者については、大きく減っている学校があります。具体的には、第二中学校ですけれども。福祉館あけぼの等で、子供たちに対して、学習を支援するというような取組や、学校行事の前に担任から密に連絡するというところを行っていることもあり、不登校の解消が見られております。

3ページに、いじめのことについて書いております。

いじめ問題対策連絡協議会というのを行ったのですけれども、そこで常葉大学の太田先生からも、いろいろなアドバイスをいただきました。

教育長

今、島田市においてはいじめの認知ということが、少ないのではないかと指摘をいただいております、このことについては、教頭会でも、いじめの認知について再度説明をし、指導したところであります。

ありがとうございました。

委員の皆様方から、何か御質問、御意見がありましたらお願いします。

B委員

この間、新聞を見ていましたら、投書があつてですね、校長先生から

の投書でした。

私の小学校では、テレビを見ない日というのを、週1回やっているようなのです。12月の新聞だったと思うのですが。例えば、ゲームをやらない日とかね、今日はお父さん、お母さんとこういう話をしましょうみたいな、何かそんな日を作っているらしいのですね。島田市内で、こういうような取組をしているような小学校があるのかなと思って、ちょっと分かっていたら教えてください。

主席指導主事

各校独自に取組は行っているのですが、以前はノーメディアデーといって、メディアに触れない日を作りましょうというような呼びかけをしておりましたが、最近ではメディアコントロールということ、子供たちに教えるようにしております。

自分がどのくらいメディアと触れ合っているのかとか、何時間ぐらいゲームやテレビに関わっているかということ、自分で目標を立てて、それを解決させるような手立てを取っている学校が幾つかあります。

B委員  
教育長  
B委員  
教育長  
A委員

ああ、そうですか。ありがとうございました。

よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

ほかはどうでしょうか。

生徒指導の問題行動の1ページ目の下の四角の中で、家庭と協力してという言葉が出てくるのですが。

今は参観日もなく、PTAが集まることもなく、なかなか家庭と学校とつながることができていないので、どのような方法で協力、コロナ禍でできるかなというのを考えていらっしゃるのか教えていただきたいです。

例えば、SNSの問題だとかというのは、親自身の知らない分野であって、どう対処したらいいのか分からないと思うのです。

学校からのお便りや、子供たちからの話でしか、学校の様子も分かりませんし、特に道徳だとか、ネット講座とかというのは、親も実際にどんな、今日は学校で話をしたかというのは、親も共有できればいいのじゃないのかなというふうに思います。

国とか県から、SNSのネットルールなどのパンフレットが来ますけれども、できれば学校独自のものとか、例えば、うちの子供の学校の学級便りなのですから、働く上で必要な力といって、働くことという学級会で話したときに、黒板にどんな意見が出たかということ、その日の振り返りがノートに書かれたものが載っていたお便りなのですから。これだけでも、子供たちがどういう先生と話をしたかというのが分かるので、こういうような活用をしたり、どうかして家庭と学校がつながってもらいたいと思っています。

主席指導主事

今お話があったように、金銭感覚を身に付けさせる指導というところについては、道徳やSNSについてなど、情報モラルの指導ということ、子供たちにしています。

その中で、学習したことについて、保護者の方々にも学級便りを通じて、お知らせしていくことを考えています。

それから、SNSやインターネットについては、子供たちよりも保護者の方が知らないことが多いという状況もあるものですから、今年はなかなかできなかったのですが、学校保健委員会やPTAの教育講演会などで、このようなテーマを取り上げて行っている学校も幾つかあります。

あと、1人1台端末がこのたび導入されるということもありまして、情報モラルについても、段階的な指導というのを、市教委からもある程度、このことを確実に抑えてくださいというものを出しながら、指導していきたいと考えています。

A委員  
教育長  
B委員

ありがとうございます。

よろしいですか。

そのことと関連するかは、どうかは分からないのですが。

自殺する女子中学生、女子高校生、前年度に比べて、専門家によると4倍から7倍くらい増えているそうですね。この間、筑波大学の斎藤環先生がその話を、ラジオでされていたので、たまたま聞いたのですが。

特に女子中学生、女子高校生は、SNSに相当頼っているところが、傾向があるらしいですね、よく分かりませんが。学力の問題もあるし、家庭の問題もあるし、友達との交友関係のこともあるというので、今は非常にその専門家に言わせると、すごく危険な状態らしいです。

ですから、先ほどのA委員の話にもちょっと関連するのですが、学校便りみたいなものを、もっと積極的にやれないかなって思います。

あと、学校のホームページなんかも、ただでさえ先生は忙しいので、こういう言い方も何ですが、ホームページの充実ということもやれるところはやっていただければありがたいなというふうに思っています。

これは要望です。よろしくお願いします。

教育長

いいですか、教育長ですが。

難しいことは、保護者も二極化してきていると思うのですよ。教育に大変熱心で、積極的に関わろうとする保護者と、それから、若干そういう意識の低いというのですかね、弱いという方も実際にいるわけなので、

ですから、お便りを出したり、ホームページに載せても、なかなか意

識してくれないという人がいるということも、これは事実なのですね。

ですから、本当にこれは難しい問題だと思うのですよ。課題がある方ほど、見ていただけないということも傾向としては、体験的に感じるものですからね。課題はなかなか根深いものがあるなと思います。

そういう中で、一つの方法としては、やはり授業でどんなことをやったかというのを、保護者に伝えておくこと、これは一つの方法だなと思います。

もう一つですね、今の道德の教科書って、書き込みできるようなところは、大変多いのですね。もっと、子供がどういうことを学んだかというのは、道德の教科書を見ていただくとかなりの部分把握できるということもあります。

それから、親として道德の教科書を読み物として読んでいただくということも、今の話題としてこういうことを話題にして、授業をやっているのだ、こういうことが取り上げられているのだということ、分かっていたかというそういう資料にもなると思うのですね。

そういう意味では、うまく保護者を巻き込んで教科書を見てもらうとか、または読んでもらうという機会を作っていくといいなということだと思いますね。これも働きかけても、どれだけやっていただける方があるかというところは、課題になると思うのですね。先ほど言ったように、意識の二極化というものがあるものですからね。

でも、やはり少しずつでもやっていかなければならない問題だなということは思いますね。

また、機会があったら、教頭会、校長会で、各担任に働きかけていただけたらありがたいなと思います。

主席指導主事

今、いろいろアドバイスをいただきまして、授業でやること、それからそのやったことを発信していくことについて、また力を入れていくように指導していきたいと思います。

また、授業でやるということについても、例えば参観会のとくにあえて授業で取り上げるですとか、そのような工夫もしていきたいと思います。

教育長

よろしいでしょうか。

成人式の報告をやる前に、進んでしまいました。

令和3年島田市の成人記念事業についての説明をお願いします。

社会教育課長

令和3年成人記念事業の実施状況について御説明いたします。

令和3年成人式につきましては、委員の皆様には、年明けに文章でお知らせさせていただきましたが、静岡県からの開催方法の変更要請や現在の感染拡大状況を鑑みまして、やむを得ず規模を縮小して開催し、式典の様子をライブ配信する方式に変更しました。

また、新成人記念事業として、オンライン同窓会や、インスタグラム

投稿企画などを実施しましたので、それらの状況につきまして御報告いたします。

1の当日の式典出席状況につきましては、各中学校区から生徒会役員経験者を中心に、代表者2名ずつに出席していただきました。アトラクションを依頼しておりました、ハレルヤさんが新成人になりまして、式典にも参加していただいたことから、合計で15人となっております。

2の式典ライブ配信視聴者数については、延べ視聴回数としては、2,472回。最大接続数としては、252という結果になりました。

このライブ配信につきましては、島田工業高校情報技術科の生徒7人が撮影、照明などを含む、配信業務を引き受けてくださり、式とは違った形での配信ということで、新聞にも取り上げていただきました。

3のオンライン同窓会ですが、WEB会議システムのzoomを用いて、中学校ごとにオンライン上の同窓会を開催しました。市が管理者となって、事前にIDとパスワードを配付して実施をしましたが、参加者は想定したよりも少なく、延べで115人という結果となりました。

参加者が多かった金谷中学校などは、当時の恩師も参加してくださり、会話が弾んだと聞いております。

一方、参加者が少なかった学校については、参加者同士のクラスが違うなどの理由からか、会話が弾まず、そのまま終了したところもあったとのことです。

4のインスタグラム投稿企画につきましては、#しまだはたち2021を付けて投稿してくれた方に、897.4茶屋とおおいなびでプレゼントを配布するという企画を実施しました。それぞれ、50個ずつ用意しましたが、合計で25個配布という結果になりました。

また、資料に記載はございませんけれども、成人式の記念品につきましては、新成人全員に郵送することとしまして、既に発送が完了しております。対象の総数としては、992個となりました。

以上、報告いたしました。

この件について、何か御質問等がありましたらお願いします。

追加で御報告させていただきます。

新成人の式典につきましては、当日ライブ配信をさせていただきまして、後日そうしたものをホームページにアップをさせていただいております。

現在、まだアップしておりまして、一応1月31日までということで、今公開をしておりますが、特段1月31日にする必要はないのではないかとこの御意見もいただいたりして、もうちょっと期間を延長する設定しておりますので、また御覧いただければと思います。

ありがとうございました。よろしいですか。

式典ライブ配信の件で、静岡市などは視聴者がかなり少なかったと

教育長  
社会教育課長

教育長  
A委員



社会教育課長

ということでニュースになっている中、島田市は1,000人弱の成人に対して、その倍以上の視聴回数があったということは、素晴らしいなと思いました。

成人式を迎えた人からの感想だとか、市民の人から感想などがありましたら教えてください。

新成人からの意見というのは、まだこちらには届いておりません。

例年、会場式のものでは、紙のアンケート調査を実施しているのですが、今年度はそれができないものですから、記念品の通知に、オンライン上でアンケートが収集できるように、QRコードをいれてありますので、それで御意見がいただけるのかなと思っております。

その他、新成人ではない方からは、例えば、よかったよというような御意見はいただいております。

A委員

ありがとうございます。

B委員

私もライブ配信、ずっと見ていました。皆さん、素晴らしいことを言われるので、僕は正直言って、感心しました。やっぱり、物おじしない人たちが多くですね。本当にいいなと思いました。感想はそういうことでございます。

教育長

よろしいですか。

確かに、今年のスピーチはよかったですね。

B委員

はい。

教育長

三者三様だったのですが、大変よかったなと思いました。

それでは、以上で予定されたものは終わりましたが、次回と次々回の会議の日程について、教育総務課長提案をお願いします。

教育総務課長

その前に1件、別紙でお配りをしております、第四小学校の建設の進捗について、簡単に御報告をいたします。

第四小学校の校舎ですけれども、今月末をもって完了の予定でございます。進捗率100%ということです。

ドローン撮影しています全景が写っているところの真ん中、白いラインがたくさん入ったところですが、これについては、新規の屋内運動場の基礎工事が進んでいるという状況でございます。

裏面を見ていただきますと、内装の様子が分かる写真を掲載しております。なるべく木質化に努めようという形で頑張った成果でございます。

第四小学校の進捗についての報告は、以上でございます。

教育長

ありがとうございます。

教育総務課長

それでは、日程のところのページを御覧ください。

10のその他の会議日程についてでございます。

次回につきましては、第2回の定例会を令和3年2月25日木曜日、午後2時から、会場を伊太のなごみの里を計画しております。

次々回につきましては、3月25日木曜日、時間につきましては、午前9時半から正午まで、会場はプラザおおるり、3階の第3多目的室を予定しております。

教育長

いかがでしょうか。

委員の皆様、どうでしょうか。

いいですか。

教育総務課長

それでは、よろしく申し上げます。臨時会はどうしますか。

続けて説明をさせていただきます。

3月につきましては、臨時案件等、協議していただくものがございませので、2回の臨時会を計画しております。

第1回が3月1日月曜日、午前10時から。第2回目が3月18日木曜日、午後1時30分から、いずれもプラザおおるりの教育長室を予定しております。

教育長

いかがでしょうか。

予定はどうでしょうか。

大丈夫みたいです。

教育総務課長

よろしく申し上げます。

教育長

それでは以上をもちまして、令和3年度第1回教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

閉 会 午後3時53分